

## 自由回答（サマリー）

### テーマ設定が身近でよかった

- フードロスの問題はすべての人の生活に関係することなので、関心を持ちやすく、また何か行動を起こすことも難しくないと感じた。
- 普段何となく気になりつつも見過ごしてしまっていた食品ロスというテーマについて、改めて考えるいい機会となった。
- 日常的かつ社会的な課題を認識でき、大変興味深いテーマ設定だった。

### 気づきや意識に変化があった

- 今回のイベントがきっかけで関心を持ち、今後自分に出来ることからやってみようという意識になった。
- これまでと違った視点での情報を得られて考えさせられた。
- 何となく知っていたことを深く知ることができてとても良かった。
- 廃棄することにコストがかかり、そのお金を他の分野にもっと活かせるという気づきがあった。

### すぐに実践することの重要性を感じた

- 自分たちがすぐにできることを確実に実施することが重要と感じた（期限が早いものを購入する、フードロスに貢献している企業や店舗をサポートする等）
- 一般家庭から排出される食品ロスも多いと分かり、不要な食品は買わない、外食時に食べきれない分を持ち帰れるか聞いてみる等、出来ることから実践していただいても、貢献できると感じた。

### ディスカッションについて

- ディスカッションはとても建設的で良かった。
- 身近なトピックでディスカッションしやすかった。

### その他、印象に残ったこと

- 日本の食品ロスの規模や廃棄コストが想像以上に大きいことに驚き、食品だけでなくお金も無駄にしていることが分かった。
- フードロスについて、一消費者としてできることが、どう消費するかだけでなく、どう購入するかにもあること。
- 食品を廃棄する際にかかるコストは結局私たち自身が負担しているということ。
- ごみの削減やリユースをする海外の先進的な事例を初めて知り、日本の消費者の意識改革が必要と感じた。